

七宗町立神渚中学校で防災講座を行いました

令和6年7月17日（水）、七宗町立神渚中学校で全校生徒25名に防災講座を行いました。七宗町は、平成以来、大きな災害が起きていないと言われ、全国的に有名になった町です。

講座では、伊勢湾台風や飛騨川バス転落事故があった昭和43年8月豪雨災害など、過去に発生した水害を学習しました。その後、VRで浸水を疑似体験し、ハザードマップの確認やマイ・タイムラインの作成を行いました。

今回、自宅が土砂災害警戒区域なのか、浸水深はどれほどなのかを初めて確認した生徒がほとんどで、多くの生徒の自宅が土砂災害警戒区域にあることが解り、何時起きるか解らない災害に対して避難の重要性を実感していました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、防災講座の様子は中日新聞、岐阜新聞に取材頂きました。

